

ブラッドフィールド開発公社主催による「西シドニー空港／AMRF 体験イベント」が、  
11 月 24 日(月)、西シドニーエアロトリポリスで開催されました。

## ■ 概要

開催日	令和 7(2025)年 11 月 24 日(月)
開催場所(会場)	ブラッドフィールド・シティ・センター及び西シドニー空港 (オーストラリア連邦ニューサウスウェールズ州)
主催	ニューサウスウェールズ州政府 ブラッドフィールド開発公社
企画・運営支援	独立行政法人都市再生機構(UR 都市機構)
後援	豪日経済委員会、在シドニー日本国総領事館、シドニー日本商工会議所、 日本貿易振興機構シドニー事務所、西シドニー空港公社
実施内容	・セミナー(ブラッドフィールド及び AMRF について) ・AMRF First Building の見学 ・西シドニー国際空港ターミナルの見学 ・ネットワーキング
主な出席者	ニューサウスウェールズ州:アナラック・チャンシヴォン産業・貿易大臣 ジェニファー・ウェスタコット BDA 会長 ケン・モリソン BDA CEO
日本:	山中 修 在シドニー日本国総領事

## ■ 開催経緯/当日の様子

現在、オーストラリア政府は、西シドニーにおいて 2026 年度の開港を目指し、新たな国際空港の建設を進めております。一方、ニューサウスウェールズ州(NSW 州)政府も、同国では 100 年ぶりとなる新都市「ブラッドフィールド・シティ」の開発を推進しています。この開発の中心には、最先端研究、イノベーション、産業成長を担う先端製造研究施設(AMRF)が既に整備されています。

本イベントは、西シドニー新空港や AMRF の現状を日本企業に直接視察いただくことで、ブラッドフィールド・シティへの関心を高めていただくことを目的に企画されました。UR 都市機構は、これまでブラッドフィールド開発公社(BDA)が新都市開発を進めるにあたり、新都市が持つ魅力や可能性を広く周知する取り組みを支援してまいりましたが、今回もその一環として本イベントをサポートしました。

当日は、日本企業を中心に 71 社 103 名が参加。冒頭のアナラック・チャンシヴォン NSW 州産業・貿易大臣による挨拶では、新空港がシドニーのさらなる発展をもたらすこと、そしてブラッドフィールド・シティへの日本企業の投資・進出への期待が述べられました。その後、参加者は BDA の特別な配慮により、建設中の西シドニー空港内部やシドニーメトロの整備が進むブラッドフィールド・シティを

視察しました。参加企業からは、

「開港前に視察できて大変有意義だった。空港整備と周辺開発の進展がよく分かった」

「新空港の開港を軸にブラッドフィールド・シティの発展に期待したい」

といった声が寄せられ、理解を深めていただけた様子でした。



アナラック・チャンシヴォン NSW 州産業・貿易大臣による挨拶



AMRF1st ビルディング施設内見学の様子



パネルディスカッションの様子



集合写真

※NSW 州政府は、2026 年後半の西シドニー新空港開港に向けて、周辺地域での新都市開発を進めており、BDA は、ブラッドフィールド・シティと命名された約 114 ヘクタールの公有地の先行開発に着手し、複合多機能用途を備えた最先端スマートシティの構築を目指しております。本年3月には、ブラッドフィールド・シティ内の第一号施設として AMRF1st ビルディングが開業しています。



ブラッドフィールド・シティの位置図



ブラッドフィールド・シティの完成イメージ図

お問い合わせ先

UR 都市機構

本社 海外展開支援部 事業支援第1課 宮丸・久恒

Tel 045-650-0385

Email [ur-nsw@ur-net.go.jp](mailto:ur-nsw@ur-net.go.jp)